

（ 参 考 ）

平成30年3月期 第1四半期連結決算概要平成29年 8月2日
三井化学株式会社
(単位：億円)

1. 損益状況

	平成29年3月期 第1四半期	平成30年3月期 第1四半期	増 減	平成29年 3月期実績	平成30年3月期 業績予想 (8/2発表値)	
					2Q累計	通 期
売 上 高	2,937	3,090	153	12,123	6,200	13,000
営 業 利 益	255	273	18	1,021	460	1,000
経 常 利 益	233	283	50	972	460	1,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	162	227	65	648	330	680
為 替 レ ー ト 円/US\$	108	111	3	108	111	110
国産ナフサ価格 円/KL	31,600	39,100	7,500	34,700	38,050	40,000

2. セグメント別 売上高・営業利益
・売上高

(単位：億円)

	平成29年3月期 第1四半期	平成30年3月期 第1四半期	増 減			平成29年 3月期実績	平成30年3月期 業績予想 (8/2発表値)	
			計	数量差	価格差		2Q累計	通 期
モ ビ リ テ ィ	747	777	30	13	17	2,933	1,540	3,140
ヘル ス ケ ア	351	342	△ 9	7	△ 16	1,342	660	1,410
フート&ハッケーシング*	444	458	14	5	9	1,825	950	1,950
基 盤 素 材	1,307	1,453	146	△ 26	172	5,656	2,910	6,210
そ の 他	88	60	△ 28	-	△ 28	367	140	290
合 計	2,937	3,090	153	△ 1	154	12,123	6,200	13,000

・営業利益

(単位：億円)

	平成29年3月期 第1四半期	平成30年3月期 第1四半期	増 減				平成29年 3月期実績	平成30年3月期 業績予想 (8/2発表値)	
			計	数量差	交易条件	固定費他		2Q累計	通 期
モ ビ リ テ ィ	120	115	△ 5	3	△ 2	△ 6	407	215	430
ヘル ス ケ ア	32	29	△ 3	3	△ 2	△ 4	101	50	130
フート&ハッケーシング*	57	46	△ 11	1	△ 4	△ 8	206	90	210
基 盤 素 材	70	108	38	0	34	4	385	145	310
そ の 他	△ 4	△ 7	△ 3	-	-	△ 3	△ 3	△ 10	△ 10
全 社 費 用 等	△ 20	△ 18	2	-	-	2	△ 75	△ 30	△ 70
合 計	255	273	18	7	26	△ 15	1,021	460	1,000

3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成29年3月期 第1四半期	平成30年3月期 第1四半期	増 減	平成29年 3月期実績	平成30年3月期 業績予想 (8/2発表値)	
					2Q累計	通 期
資 産 売 却 益	2	25	23	26	25	25
固定資産処分・売却損	△ 8	0	8	△ 73	△ 15	△ 65
減 損 損 失	△ 3	-	3	△ 41	-	-
投資有価証券評価損	-	-	-	△ 2	-	-
そ の 他	-	-	-	△ 24	-	-
合 計	△ 9	25	34	△ 114	10	△ 40

4. 貸借対照表

（単位：億円）

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H29/3末	H29/6末	増 減		H29/3末	H29/6末	増 減
流 動 資 産	6,789	6,433	△ 356	有 利 子 負 債	4,399	4,310	△ 89
有 形 固 定 資 産	4,094	4,099	5	そ の 他 負 債	3,710	3,350	△ 360
無 形 固 定 資 産	352	361	9	自 己 資 本	4,497	4,658	161
投 資 等	2,020	2,069	49	非 支 配 株 主 持 分	649	644	△ 5
資 産 計	13,255	12,962	△ 293	負 債 純 資 産 計	13,255	12,962	△ 293
				(NET D/Eレバ)	(0.79)	(0.77)	(△ 0.02)

5. キャッシュ・フロー

（単位：億円）

	平成29年3月期 第1四半期	平成30年3月期 第1四半期	増 減	平成29年 3月期実績	平成30年3月期 業績予想 (8/2発表値)	
					2 Q累計	通 期
営業キャッシュ・フロー	209	221	12	1,004	480	1,020
投資キャッシュ・フロー	△ 112	△ 91	21	△ 474	△ 320	△ 820
（フリーキャッシュ・フロー）	(97)	(130)	(33)	(530)	(160)	(200)
財務キャッシュ・フロー	△ 97	△ 224	△ 127	△ 476	△ 160	△ 200
そ の 他	△ 28	2	30	△ 7	-	-
現 預 金 等 増 減	△ 28	△ 92	△ 64	47	0	0
現 預 金 等 残 高	754	737	△ 17	829		



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月2日

上場会社名 三井化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 淡輪 敏

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小久江 晴子

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	309,018	5.2	27,257	6.8	28,292	21.4	22,708	40.1
29年3月期第1四半期	293,692	△22.5	25,519	12.3	23,304	0.2	16,204	△3.6

(注)包括利益 30年3月期第1四半期 28,998百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △1,817百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	22.70	—
29年3月期第1四半期	16.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,296,152	530,195	35.9
29年3月期	1,325,525	514,635	33.9

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 465,792百万円 29年3月期 449,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	9.00	14.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	8.00	—	40.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は8円となり、1株当たり年間配当金は16円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。なお、平成29年3月期の期末配当金の内訳は普通配当 7円00銭、記念配当 2円00銭です。

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	620,000	9.0	46,000	1.4	46,000	9.8	33,000	164.95
通期	1,300,000	7.2	100,000	△2.1	100,000	2.9	68,000	339.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）				
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	1,022,020,076 株	29年3月期	1,022,020,076 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	21,714,254 株	29年3月期	21,683,571 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	1,000,316,760 株	29年3月期1Q	1,000,524,717 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）
当社は、平成29年6月27日開催の第20期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想
- 1株当たり配当金 第2四半期末 8円00銭（注1） 期末 8円00銭（注2）
2. 平成30年3月期の連結業績予想
- 1株当たり当期純利益 第2四半期（累計） 32円99銭 通期 67円97銭

（注1）第2四半期末の配当は、株式併合前の株式数に対して支払われます。
（注2）株式併合考慮前に換算した配当額です。
（注3）平成30年3月期の年間配当金（株式併合考慮前）は16円00銭となります。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般的状況)

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日の3ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、米国や欧州での景気回復が継続した一方、主要国の政策動向や地政学的なリスクなど、世界経済の変動に留意すべき状況が継続しました。日本においては、雇用や所得環境の改善が続く中、緩やかな回復基調が継続しました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
当四半期	3,090	273	283	227
前年同四半期	2,937	255	233	162
増減額	153	18	50	65
増減率(%)	5.2%	6.8%	21.4%	40.1%

売上高は、前年同四半期に比べ153億円増(5.2%増)の3,090億円となりました。これは、ナフサなどの原燃料価格上昇及び為替変動に伴う販売価格上昇の影響等があったことによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ18億円増(6.8%増)の273億円となりました。これは、販売が堅調に推移したことや基盤素材事業を中心とした交易条件の改善等によるものです。

経常利益は、前年同四半期に比べ50億円増(21.4%増)の283億円となりました。これは、営業利益が増加したことに加え、持分法投資利益の増加や為替差損の改善の影響があったことなどによるものです。

特別損益は、前年同四半期に比べ資産売却益が増加したことにより、25億円の利益となりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ84億円増(37.7%増)の308億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べ65億円増(40.1%増)の227億円となり、1株当たり四半期純利益金額は22.70円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

(モビリティ)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ30億円増の777億円、売上高全体に占める割合は25%となりました。一方、営業利益は、販売数量が拡大したものの、交易条件の悪化等により、前年同四半期に比べ5億円減の115億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、円安の影響を受けるとともに、堅調な需要に的確に対応しました。

機能性コンパウンド製品は、主にアジア、欧米での堅調な需要に的確に対応しました。

ICT(情報通信技術)関連用途を中心とする**機能性ポリマー**は、販売が堅調に推移しました。

海外**ポリプロピレン・コンパウンド**事業は、アジアを中心に自動車生産台数は増加したものの、交易条件が悪化しました。

(ヘルスケア)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ9億円減の342億円、売上高全体に占める割合は11%となりました。また、営業利益は、ビジョンケア材料等における堅調な販売があったものの、不織布における原料価格の上昇等により、前年同四半期に比べ3億円減の29億円となりました。以

上により、セグメント全体では、減収・減益となりました。

ビジョンケア材料のメガネレンズ用材料は、販売が堅調に推移しました。

不織布は、プレミアム紙おむつの消費が堅調に推移したものの、原料価格上昇の影響を受けました。

歯科材料は、需要は堅調に推移したものの、販売数量は時期ずれ等により減少しました。

(フード&パッケージング)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ14億円増の458億円、売上高全体に占める割合は15%となりました。一方、営業利益は、販売は総じて堅調に推移しましたが、交易条件の悪化により、前年同四半期に比べ11億円減の46億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

コーティング・機能材は、販売が堅調に推移しました。

機能性フィルム・シートは、原料価格上昇の影響を受けましたが、販売数量が増加しました。

農薬は、需要は堅調に推移したものの、販売数量は時期ずれ等により減少しました。

(基盤素材)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ146億円増の1,453億円、売上高全体に占める割合は47%となりました。また、営業利益は、堅調な国内需要の影響及び当社が進めてきた事業構造改善の効果が発現したことにより、前年同四半期に比べ38億円増の108億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

ナフサクラッカーの稼働率は、前年同四半期並に推移しました。また、**ポリエチレン**及び**ポリプロピレン**は、国内需要を背景に販売が堅調に推移しました。

フェノールは、前年同四半期に比べ市況は低迷しましたが、事業構造改善の効果が現れておりません。

高純度テレフタル酸は、中国市況の低迷を背景に厳しい状況が続いています。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ28億円減の60億円、売上高全体に占める割合は2%となりました。また、営業損失は、前年同四半期に比べ3億円増の7億円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ293億円減の1兆2,962億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ449億円減の7,660億円となりました。また、**有利子負債**は89億円減の4,310億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ0.1ポイント増の33.3%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ156億円増の5,302億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ2.0ポイント増の35.9%となりました。

以上により、当期末の**ネットD/Eレシオ**(**ネット有利子負債(有利子負債－現預金)／自己資本**)は、前期末に比べ0.02ポイント減の0.77となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(業績の見通し)

業績予想の修正にあたり、第2四半期連結累計期間の為替レートは111円/\$、国産ナフサ価格は38,050円/KL、通期の為替レートは、110円/\$、及び国産ナフサ価格は40,000円/KLを前提としております。

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、モビリティ、ヘルスケア及びフード&パッケージングの各セグメントにおける販売が堅調に推移することや基盤素材セグメントにおける交易条件の拡大により、収益は増加する見込みです。

また、通期につきましては、下期の事業を取り巻く環境は不透明であり、為替及び経済環境変動に伴うリスクも想定されるものの、引き続き堅調な販売が継続する見込みです。したがって、第2四半期連結累計期間の業績に加えて、通期の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想値から増加する見込みです。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
第2四半期 連結累計期間	6,200	460	460	330
通期	13,000	1,000	1,000	680

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売 上 高						
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージ ング	基盤素材	その他	全社 費用等	合 計
第2四半期 連結累計期間	1,540	660	950	2,910	140	—	6,200
通期	3,140	1,410	1,950	6,210	290	—	13,000

(単位：億円)

	営 業 利 益						
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージ ング	基盤素材	その他	全社 費用等	合 計
第2四半期 連結累計期間	215	50	90	145	△10	△30	460
通期	430	130	210	310	△10	△70	1,000

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	84,120	74,513
受取手形及び売掛金	271,706	250,364
たな卸資産	247,544	251,556
繰延税金資産	16,192	14,715
未収入金	52,279	42,890
その他	7,628	9,767
貸倒引当金	△531	△538
流動資産合計	678,938	643,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	335,957	337,483
減価償却累計額	△232,255	△233,971
建物及び構築物（純額）	103,702	103,512
機械装置及び運搬具	988,248	991,458
減価償却累計額	△861,563	△866,438
機械装置及び運搬具（純額）	126,685	125,020
土地	155,441	155,458
建設仮勘定	11,465	14,056
その他	72,481	72,871
減価償却累計額	△60,345	△61,006
その他（純額）	12,136	11,865
有形固定資産合計	409,429	409,911
無形固定資産		
のれん	7,407	7,646
その他	27,781	28,492
無形固定資産合計	35,188	36,138
投資その他の資産		
投資有価証券	141,873	145,289
退職給付に係る資産	31,103	32,638
繰延税金資産	6,755	6,659
その他	24,610	24,599
貸倒引当金	△2,371	△2,349
投資その他の資産合計	201,970	206,836
固定資産合計	646,587	652,885
資産合計	1,325,525	1,296,152

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	145,658	116,364
短期借入金	90,276	93,321
1年内返済予定の長期借入金	18,582	27,950
1年内償還予定の社債	24,142	14,142
未払金	69,531	66,408
未払法人税等	5,735	4,442
役員賞与引当金	140	35
修繕引当金	12,173	12,439
その他	26,546	23,945
流動負債合計	392,783	359,046
固定負債		
社債	35,574	35,503
長期借入金	268,654	257,403
繰延税金負債	24,169	24,797
役員退職慰労引当金	251	219
修繕引当金	3,878	4,312
環境対策引当金	732	718
退職給付に係る負債	55,200	55,673
資産除去債務	4,196	4,261
その他	25,453	24,025
固定負債合計	418,107	406,911
負債合計	810,890	765,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	90,491	89,201
利益剰余金	236,961	250,667
自己株式	△14,708	△14,725
株主資本合計	437,797	450,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,337	21,073
繰延ヘッジ損益	△25	△33
為替換算調整勘定	4,211	6,785
退職給付に係る調整累計額	△12,628	△12,229
その他の包括利益累計額合計	11,895	15,596
非支配株主持分	64,943	64,403
純資産合計	514,635	530,195
負債純資産合計	1,325,525	1,296,152

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	293,692	309,018
売上原価	221,758	233,202
売上総利益	71,934	75,816
販売費及び一般管理費	46,415	48,559
営業利益	25,519	27,257
営業外収益		
受取利息	186	258
受取配当金	818	761
持分法による投資利益	285	1,715
その他	905	571
営業外収益合計	2,194	3,305
営業外費用		
支払利息	1,410	1,366
為替差損	2,343	26
その他	656	878
営業外費用合計	4,409	2,270
経常利益	23,304	28,292
特別利益		
固定資産売却益	66	2,519
投資有価証券売却益	159	—
特別利益合計	225	2,519
特別損失		
固定資産処分損	816	21
固定資産売却損	4	1
減損損失	343	—
特別損失合計	1,163	22
税金等調整前四半期純利益	22,366	30,789
法人税等	3,455	5,890
四半期純利益	18,911	24,899
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,707	2,191
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,204	22,708

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	18,911	24,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,032	830
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△17,184	2,238
退職給付に係る調整額	1,088	353
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,600	678
その他の包括利益合計	△20,728	4,099
四半期包括利益	△1,817	28,998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,410	26,410
非支配株主に係る四半期包括利益	△407	2,588

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージング	基盤素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	74,698	35,137	44,395	130,687	284,917	8,775	293,692
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,600	599	1,185	13,920	18,304	12,168	30,472
計	77,298	35,736	45,580	144,607	303,221	20,943	324,164
セグメント利益又は セグメント損失(△)	12,014	3,184	5,684	7,004	27,886	△392	27,494

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	27,886
「その他」の区分の損失(△)	△392
セグメント間取引消去等	△443
全社費用等(注)	△1,532
四半期連結損益計算書の営業利益	25,519

(注) 全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージング	基盤素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	77,729	34,186	45,796	145,292	303,003	6,015	309,018
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,555	787	230	15,949	20,521	12,763	33,284
計	81,284	34,973	46,026	161,241	323,524	18,778	342,302
セグメント利益又は セグメント損失(△)	11,540	2,911	4,589	10,754	29,794	△721	29,073

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	29,794
「その他」の区分の損失(△)	△721
セグメント間取引消去等	△60
全社費用等(注)	△1,756
四半期連結損益計算書の営業利益	27,257

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。